



## 女性建築士の集い報告

旭川支部 上野るみ子



9月28日(日)「君の椅子」プロジェクト代表の磯田 憲一氏をお招きし、「生命(いのち)ことほぐ」と題し、講演して頂きました。会員26名、一般5名の参加でした。

始まりは、旭川大学大学院の磯田ゼミで「誕生する子供を迎える喜びを、地域で分かち合いたい」そんな会話から始まりました。「新しい市民」となった子供たちに「生まれてくれてありがとう」の思いを込めて、居場所の象徴としての「椅子」を贈る取り組みです。

「君の椅子」は、デザイナーが心をこめて描いたデザインをもとに、無垢の木材を使い北海道が誇る家具製作技術で作られたオリジナルの手づくり椅子で、デザインは毎年変わり、座面の裏に生まれた日と名前、プロジェクトロゴや一連番号が刻印された、正に“世界に一つだけの椅子”なのです。

2006年東川町から始まり、剣淵町・愛別町・東神楽町そして2014年からは中川町も参加。自治体が予算を組み、地域の木工家に、椅子の制作技術に相応の対価を支払い、技術の伝承を後押しするという仕組みを磯田氏が進められました。

また、東日本大震災で多くの方が亡くなった岩手・宮城・福島で、2011年3月11日想像を絶する中で「104」もの新しい生命が誕生したことを調べ、“希望の「君の椅子」を贈る取り組みもされました。報道番組のVTRの中で『あんな大変な日に誕生して祝っちゃいけないと思っていました』と言う親御さんに、「おめでとう」と磯田氏自ら椅子を届けると、『本当に祝ってやって良いんですね』と涙を流され大変喜んでいらっしやいました。

プロジェクトも今年で9年目。今までも無垢の木材を使っていましたが、新たにその材料にもこだわり、中川町有林や北大研究林の道産材を使用することになり、林業従事者、デザイナー、制作者、そして使用者に至るまでのトレーサビリティが明らかな「君の椅子」が出来上がるそうです。

歴代の「君の椅子」は、札幌の中心部で最も古いビルといわれる大五ビルと、旭川美術館にも収蔵されているので、機会があれば拝見したいと思っています。

懇親会は、酒蔵オーナーの自宅として昭和8年に建てられた、戦前旭川の文化の髄を集めた 登録有形文化財(建物)の“おかだ紅雪庭”で、美味しいお蕎麦をいただきました。



## イタリア建築と食文化を楽しむ

釧路支部 金子ゆかり

去る7月12日、釧路支部では「イタリア家庭料理講座&イタリア建築紀行」と題し、建築の勉強会を兼ねたお料理教室を、釧路ガスショールームのクッキングスタジオをお借りして、開催しました。

当日は会員5名が出席。

講師には、道東唯一のオリーブオイルソムリエである菅原以久子氏を迎え、本場イタリアの家庭料理を教えてくださいました。

生のアーモンドを使ったパスタソースやズッキーニの塩タルトなど普段、味わう事の無いメニューに一同大興奮!しかも、忙しい建築士会メンバーでも作れるような簡単なレシピも配布されました。

楽しい料理と美味しい試食の後は、有限会社三浦建築設計事務所、三浦氏に、イタリア建築についてスライドを見せながら解説をして頂きました。

歴史的な有名建築物だけでなく宿泊したホテルのインテリアなど建築士の目線で見たイタリア建築の魅力が沢山伝えて頂きました。

大変好評だったこの事業、会員限定では勿体無いとの声もあり、第二段を検討しているところです。



《塩やオイルをテイスティング》



《イタリアを満喫する会員たち》